

事業報告書（HP公開用）

講座名	第26回 沖縄県母親大会
日時	2021年9月18日(土)14:00～15:30
目的	「コロナの中の子どもたち」をテーマに、新型コロナウイルスの流行下で子どもたちがどのように過ごしているのかを学習し大人としてどう対処すべきかを学習交流する
対象	県内在住の女性及び関心のある方
講師	仲本千佳子 名護療育療養センター 小児科医 診療科長
会場	沖縄県教職員共済会館 八汐荘屋良ホール
定員	50名（申込者数；40名）
参加者数	会場参加 24名(うち男性 4名) 他にオンライン視聴箇所8カ所
講演内容(概要)	<p>新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから一年半を振り返って、この間の子どもたちの様子が全国的の状況とも比較しながら、とりわけ困難な状況にある沖縄の子どもたちは教育の面でも、情緒的な面でも、家庭環境の面でも様々な面で格差が広がっているのではないかと懸念される。また、ワクチンの接種が進むと今度は、ワクチンを打った打たないで保護者の子どもへの対応が違ってきたり、子どもの自殺も増えてくるのではないかと思われる。学校では一斉授業が難しくなって、オンラインでの授業もあるが、一方では普段学校へ来れない子どもと繋がることできるというメリットもある。今の教育というのは、生きる力を育むと言われている。子どもたち自身の問題を解決するという力、主体的な存在として意見を聞いて参加できる機会を大人はできるだけ設けてほしい。</p>
参加者の声	<p>はじめは聞くつもりはなかったけれど、感染で大変なのは子どもたちだと気づき、途中から参加。12才以上のワクチン接種は未知のこともあり、慎重さが求められると思う。</p> <p>100年前のスペイン風邪の時のことを思い出した。その時も政府の対応が遅くて多くの命が失われたが、今回もその時とほとんど変わらない状況に驚いている。今日、いろいろなことが勉強できてよかった。</p>
写真	別添
共催	(公財)おきなわ女性財団

講演会の様子

